

Title	古代中国における非神話化の諸相
Sub Title	
Author	清水, 文子(Shimizu, Fumiko)
Publisher	三田史学会
Publication year	1981
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.51, No.3 (1981. 12) ,p.108- 108
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	昭和五四年度修士論文要旨(追加)
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19811200-0108

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

(38) G. E. Turner, op. cit., p. p. 21-22.

(39) D. Snodgrass, op. cit., p. 26.

(40) 代理商社は、一八二〇年以後出現した植民地的企業といわれる。販売や経営の熟練者が稀な國への外資投入のリスクを少しあるためには考慮された。(G. C. Allen and A. G. Don-

nithorne, 'Western Enterprise in Indonesia and Malaya...A Study in Economic Development', London, 1957, p. 52.)

ヤイロン銀行は一八四一年の開行。恐慌時にオリエンタル・バンクに吸収されたが、コーヒー産業の崩壊と歩調をあわせぬかのように、一八八四年オリエンタル・バンクは倒産した。

(41) 深沢八郎、前掲論文、p. 5.

留和五十四年度修士論文叢書（追加）
「古代中国における非神話化の諸相」

清水 文子

ヤスペースの「枢軸時代」の構想が、同時に「非神話化」の時代をあらわしていたことは間違ひでない。前歴一紀元前五〇〇年前後一が、中国、ギリシア、インドの三地域において、経済的基礎の上に知識人という特殊な階層を生み出しつゝ社会的背景を準備していたのであった。中国においてもギリシア、インダと同様に、合理的思考の萌芽以

前には神話的な方法ですべてを説明しようとした時代が横たわっていた。しかし、中国の哲学・宗教の特筆すべき傾向であるが、孔子の「怪力乱神を語らず」という現実的合理主義精神が前時代の荒唐無稽な神話群からの決別に尽力するとともに、一つの「非神話化」の方向として「歴史化」という過程を促進させていった。すなわち秩序世界、文明社会の創設者として堯・舜・禹などを歴史上の古聖王として描写し、現存するコスマスの肯定のもとに政治的な「神話」を儒教的倫理によって再編成したのであった。一方、孔子学派とは発生的に起源を異にすると思われる道家の知識人たちは、民俗社会に培われた神話的思考を基盤として儒家とは対照的な思想、すなわち秩序世界確立以前の混沌一彼らの究極的実在「道」一にノスタルジーを抱き続ける哲学であった。混沌から世界が生成する一という普遍的に見出される宇宙生成神話が古代中国にも伝承されていたのであらう。それをモチーフに『老子』や『莊子』を形成していく思想家たちは存在論的な哲学を編み出した。この意味で彼らの思想は、J・ニーダム等も認めるように、前ソクラテス期の自然哲学との類似が指摘されるよう。ギリシアにおいても中国においても哲学は神話から胚胎し、合理化が助長される一方でつねにその母胎からの断絶を拒んできたのである。『莊子』内篇の最後を飾る有名な混沌の寓話は、一人の偉大な哲学者によって新たに創作された「神話」であり、彼の哲学の結晶であった。